

多摩支部会報第 59 号

2024 年 2 月 19 日発行

朝ドラ特集・小平地域支部創立 40 周年記念公演ご案内

NHK 連続テレビ小説「虎に翼」

2024 年 4 月 1 日（月）スタート

2024 年 4 月 1 日（月）から NHK 連続テレビ小説「虎に翼」がスタートします。
この朝ドラの主人公のモデルは、明治大学出身で、日本初の女性弁護士、初の裁判所所長、
そして、家庭裁判所創設にも関わった「三淵嘉子」（みぶちよしこ）です。

「虎に翼」の主人公モデル「三淵嘉子」の略年譜（1914 年～1984 年）

- 1932 年（昭和 7 年） 東京女子高等師範学校附属高等女学校卒業
- 1935 年（昭和 10 年） 明治大学専門部女子部卒業
- 1938 年（昭和 13 年） 明治大学法学部卒業
高等文官試験司法科試験合格
- 1940 年（昭和 15 年） 弁護士登録
（第二東京弁護士会所属、日本初の女性弁護士）
明治大学専門部女子部助手
（明治大学では、1972 年まで教員を努める）
- 1941 年（昭和 16 年） 和田芳夫と結婚（芳夫は、1946 年に戦病死）
- 1949 年（昭和 24 年） 東京地方裁判所民事部判事補
（日本で 2 番目の女性裁判官）
- 1956 年（昭和 31 年） 三淵乾太郎と結婚
- 1972 年（昭和 47 年） 新潟家庭裁判所所長に就任
（日本初の女性裁判所所長）



三淵嘉子

（広報誌「明治」第 100 号より）

NHK 連続テレビ小説「虎に翼」

物語のあらすじ

昭和のはじめ、日本初の女性専門に法律を教える学校ができます。そこへ集まったのは、当時の日本のどこにも収められない、溢れ出す何かを抱えた女性たちでした。この物語の主人公・猪爪寅子もそんな収められない女性。周囲から「魔女部」と陰口を叩かれた女性だけの学び舎で、彼女たちは自らの道を切り開くため法律を学んでいきます。昭和 13 年（1938 年）卒業生から日本初の女性弁護士が誕生します。しかし、弁護士として意気揚々と世に出た



昭和13年〈1938年〉、卒業生から日本初の弁護士が誕生します。寅子もその一人として日本中から憧れの的になります。しかし弁護士として意気揚々と世に出た彼女たちを待ち受けていたのは、戦争へと突き進んでいく日本でした。法学という社会に羽ばたく翼を得たはずが、それを使える場は急速に消えてしまいます。昭和20年〈1945年〉、焼け野原に立つ寅子は全てを失っていました。明日生きるため頼れるのは、かつて学んだ法律だけ。彼女は裁判官になることを決意。戦争で親を亡くした子どもや苦境に立たされた女性たちのため、家庭裁判所の設立に奔走することになります。そして、寅子はついに裁判官になります。彼女とその仲間たちは、政治でも経済でも解決できない、追いつめられた人々の半径5メートルの世界を見つめ、その苦境から救うため情熱をもって向き合っていきます。

作：吉田恵里香、主題歌：米津玄師「さよーならまたいつか!」、語り：尾身真千子
 キャスト：伊藤沙莉/石田ゆり子 岡部たかし 仲野太賀 森田望智 上川周作/松山ケンイチ
 小林薫 他 (「NHK HP」より)



明治大学博物館での展示

女性法曹養成機関のパイオニア—明治大学法学部と女子部—

開催場所：明治大学博物館（明治大学アカデミーコモン地階）

開催期間：3月25日（月）～10月28日（月） 入場無料

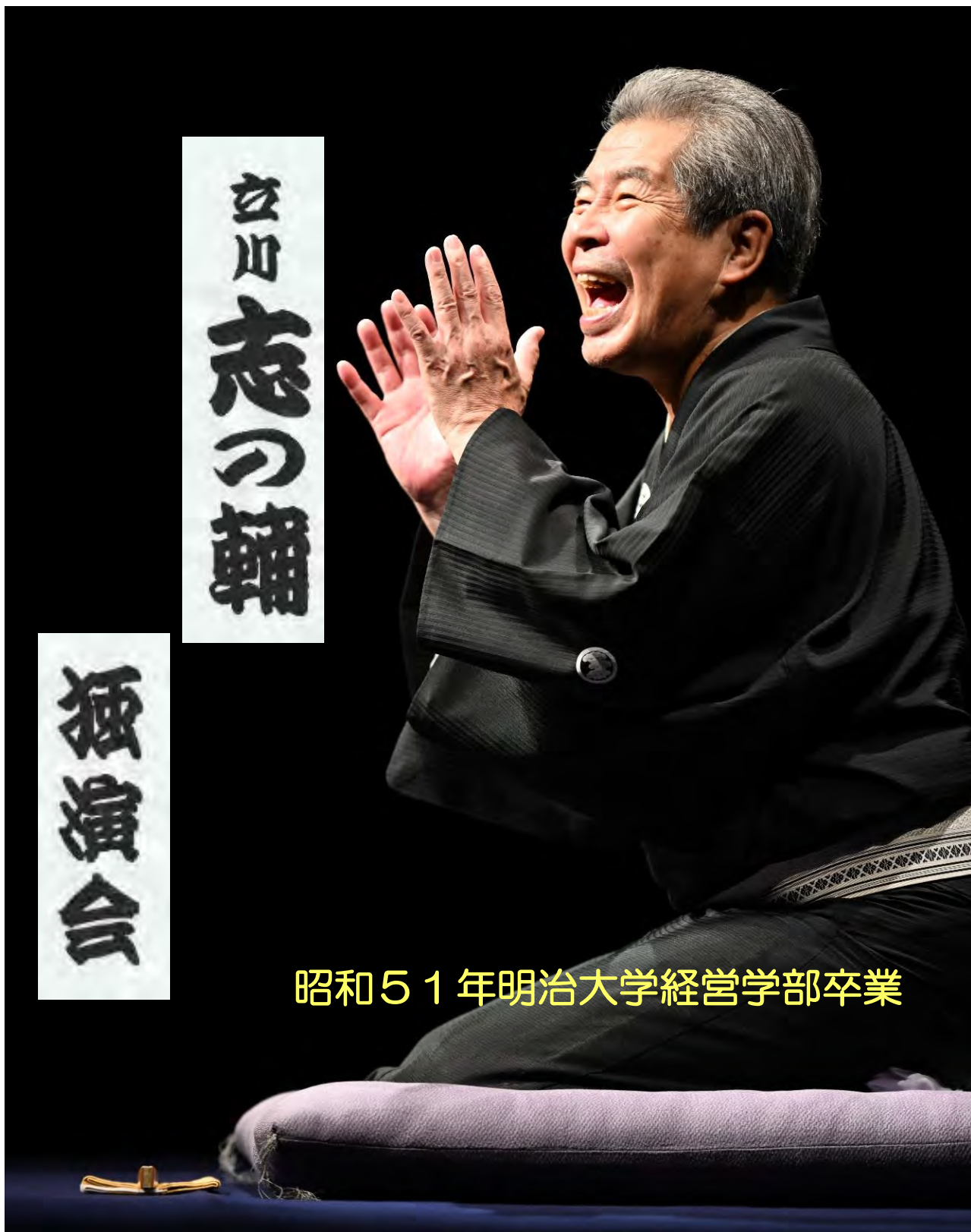
主催・企画：明治大学史資料センターほか (女子部校舎 1929年)

大学史資料センター（所長：村上一博法学部教授）では、日本初の女性弁護士を輩出した明治大学法学部および専門部女子部（1929年設置）と、その卒業生について紹介する展覧会を開催します。今日の大学は、1949年（昭和24年）に本格的に発足した制度（新制大学）のもとで運営されており、男女間で教育の機会や内容に違いはありません。しかし、それ以前（旧制大学）、そもそも大学で学ぶことができるのは、原則として男子に限られるなど、女性が高等教育機関で学ぶ機会、およびその内容に制限がありました。法学をめぐるのは、大正末期から昭和初期にかけて、官民で女性弁護士を認めるための議論が進められ、ようやく1933年（昭和8年）に弁護士法が改正され、女性が弁護士になることが認められました。このような社会背景のなかで、明治大学はいち早く法学を志す女性に門戸を開くため、1929年（昭和4年）4月に専門部の一部門として女子部を設置し、1931年（昭和6年）には女子部の卒業生に対して明治大学が設置する学部への入学を認めました。その結果、女子部と法学部で学んだ女子学生のなかから、三淵嘉子、中田正子、久米愛という3名の日本初の女性弁護士が誕生し、その後もしばらくは、女性弁護士の多くが明治大学女子部と法学部で学んだ者たちで占められました。

（広報誌「明治」第100号より）

なお、連続テレビ小説「虎に翼」展（主催：NHK財団）が同時開催されます。

多摩支部の皆様も「明治大学博物館」へ足を運んでみませんか。



昭和51年明治大学経営学部卒業

明大校友会小平地域支部 創立40周年記念公演

◎ 龍角散のCMでお馴染み「志の輔」の独演会を開催します

2024年6月1日(土)

13:30開演

ルネこだいら(中ホール)

木戸銭:4,500円

☆お申込みは、お近くの校友会支部又は下記へ。先着順での受付

小出: koideco-3@jcom.zaq.ne.jp

[090-2400-4368](tel:090-2400-4368) ショートメールにて



「新しい明治」見せた



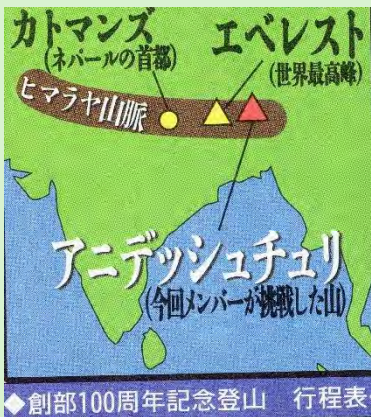
ラグビー・全国大学選手権決勝戦（2024年1月13日）

5大会ぶりの優勝はならなかったものの、明大は今シーズン追い求めてきたラグビーを随所に見せた。前半35分、「重戦車」と評されるFWが相手ゴール前まで前進すると、右サイドから左へ鮮やか展開。最後はCTB秋浜がインゴールへ飛び込んだ。創部100周年を迎えた今季は、「ハイブリッド重戦車」を掲げてチームを作ってきた。「昔のように、動けなくても強ければいい、ではダメ」と神鳥監督。伝統の強力FW陣を生かした攻撃に加え、FW、BKが一体となって速いテンポでボールをつなぎ、相手に的を絞らせない新しいスタイルを磨いてきた。大舞台でその一端を披露し、主将のCTB広瀬は、「全く悔いはない。後輩たちには明治がもう100年続くように伝統を継承してほしい」と言った。敗戦の中でも確かな足跡を残し。新たな明大の始まりを印象づけた。

（記事：読売新聞2024年1月14日から転載、イラスト：明大スポーツより）

ヒマラヤ未踏峰・アニデッシュチュリの頂きへ

人類史上最高地点に到達！！



2022年に創部100周年を迎えた山岳部。記念事業の一環として、11年のマッキンリー登山以来、12年ぶりの海外遠征が実現した。OB学生混合隊で向かったのはネパール・ヒマラヤの未踏峰アニデッシュチュリ。誰も登頂したことのない山に山岳部が挑んだ。2023年10月15日到達。（明大スポーツより）



女性初の山岳部主将 川嶋すず菜（農学部2年）

地域と歩む「地域支部」

清瀬地域支部



(東京都環境局 HP より)

多摩湖ウォーキング～清瀬市民とともに

清瀬地域支部では、毎年11月下旬に「多摩湖ウォーキング」を開催しております。今回で11回目の恒例行事となり、毎年多くの一般市民の方が参加されます。昨年11月25日(土)の第11回多摩湖ウォーキングには、校友6名と一般市民の方が11名と総勢17名のウォーキングとなりました。清瀬市の「市報きよせ」にイベント告知が掲載され、一般市民の方々からの申

し込みをいただき開催しております。毎回この企画を楽しみにされ、参加される方々もいらっしゃいます。約8kmのウォーキングでは、半日の晩秋のウォーキングを満喫していただく為に、準備運動、交通安全などを配慮して開催しております。ゴール到着後、地元清瀬駅に戻っての有志によるそば処でのランチ会も恒例となりました。
(記：粕川偉三男(昭48・政経))



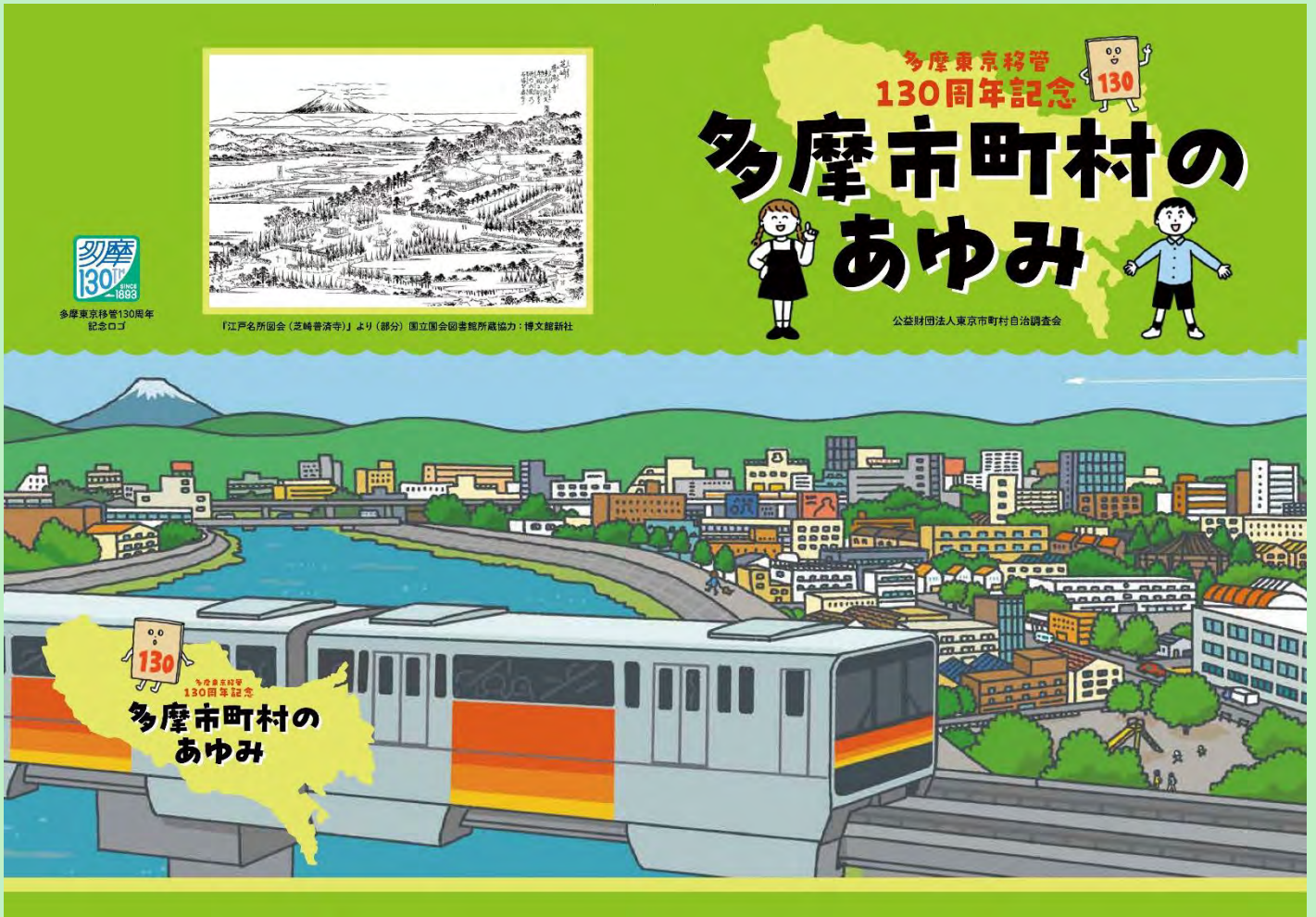
これから出発です



中間地点の時計台で一休み

多摩地域の成り立ちを知ろう

公益財団法人「東京市町村自治調査会」から多摩東京移管 130 周年を記念した冊子「多摩市町村のあゆみ」が発行されました。1893 年（明治 26 年）に行われた東京移管の背景や、都心部との結びつきが強まるとともに、多摩地域に別荘やレクリエーション施設が増加した経緯などが 8 章構成で、漫画も掲載され、多摩の成り立ちや歴史を知る冊子になっています。



（「多摩市町村のあゆみ」表紙）



（「多摩市町村のあゆみ」裏表紙）



冊子「多摩市町村のあゆみ」は、公益財団法人・東京市町村自治調査会の HP (<https://www.tama.or.jp>) から、ご覧いただけます。

多摩の歴史を振り返る小冊子です。

皆様に多摩地域の歴史を知って頂き、多摩地域への関心を深めていただくことができます。

『話し方教室』について

～話し方教室は、生き方教室～

高玉茂男（三鷹地域支部長、昭44・商）

昭和30年代頃、故江木武彦氏が新宿区神楽坂のビルに、言論科学研究所を設立し、『より良い人間関係をつくる話し方教室』を開設しました。小人数の教室で、「あいさつ」や「自己紹介」の仕方など、テキストに沿って講師の講義を受けます。その後、受講者一人一人が前に出て3分間スピーチと講師の講評を受けます。まだ日本社会では「人間関係」を学ぶことは殆んど無く、首都圏各地に教室ができ、多くの男女が集いました。

私は元々内向的な性格で、対人関係が苦手でした。友人の結婚式でスピーチを頼まれた時、途中で絶句してしまい、話し方教室へ通い始めました。1年以上通うと、人前でのスピーチがこなせるようになり、人間関係も広がりました。税理士事務所開業をした私は、お客様とのつながり、又、三鷹青年会議所への参加やロータリークラブ会長などを経験して、人生が大きく変わりました。

三鷹市でも、成人学校で、「話し方教室」

が開催され、講座終了後には、参加者の希望で自主グループが結成されました。講師を招き、私は助手として参加し、講師の死亡後は私が講師代理となり、二十年間程継続したが、会員の減少に伴い、解散となりました。

4年前に、仕事関係で付き合いのある5名程で、「話し方」グループを作ろうとなり、4月の開会で「さつき会」と命名しました。月1回午後6時から2時間の演習をして

います。

今は、様々な業種の方達が紹介で集い、「説明」「説得」の他「即題」など毎回テーマを決めて、大勢の前でのスピーチ、小グループでの話し合い等、体験学習を中心に行っています。参加者は現在10名前後です。

『話し方教室は、生き方教室』です。目的は、流暢に話せる話術ではなく、口下手でも互いが温かく理解し合う人間的対話力の向上です。参加ご希望の方は、☎0422-71-5271、「高玉会計事務所」へご連絡下さい。



毎月1回開催の市民講座

高玉茂男先生の話し方教室

話し方30年の歴史ある教室です
実績指導を交えて楽しく学べます
楽しい勉強会ですので、お気軽にご参加ください！

高玉茂男先生の紹介
『話し方教室』で学んだ経験を活かして、経営者研修、人材育成などで、会社を大きく伸ばしています！

こんな方におすすめ！

- 人間関係を良くしたい…
- 人間関係が苦手な方…
- 話し方教室で学んだ経験を活かして、会社を大きく伸ばしたい…
- 話し方教室で学んだ経験を活かして、会社を大きく伸ばしたい…

日時：毎月1回 原則第3木曜日 18:00～

場所：三鷹市消費者活動センター
三鷹市東横2丁目22番1号

参加費：1,000円
※お申し込みと同時にご参加いただけます。
※お申し込み後、変更になる場合がございます。
電話：0422-71-5271

主催：さつき会
代表：高玉茂男
〒201-8502 三鷹市東横2丁目22番1号 高玉会計事務所内
お申し込み：高玉茂男 090-9130-1243
電話：0422-71-5271
Eメール：takahashi@comnet.ne.jp

会場のご案内

「朗読」だけは続けて行きたい、いつまでも

飯田由美（国分寺地域支部、昭48・文）

1969年、文学部に入学しました。当時はロックダウンや休講が多く、ノンポリの私は休講と知るや、和泉校舎の時は、明大前の名画座、駿河台の時は、飯田橋佳作座、そして地元の国立スカラ座での映画三昧でした。

卒業後は、亡き母の創業した国立駅前の不動産仲介業の事務所へ。法政大学卒業の弟と共に、地元で働き、半世紀余となります。

30代初め、父母の故郷、信州・伊那谷出身の故後藤総一郎・明大政経学部教授の著書『遠山物語』へのファンレターがご縁で、先生の提唱された、柳田国男の学問と思想を学ぶ、「常民大学」での勉強会に参加。勉強会で知り合った写真家・故中川賢俊氏の写真集『神棲む谷』に、「遠山へのラブレター」という詩文集を残せました。2000年、劇団民藝・田口精一氏の朗読講座に参加。その後、田口先生のもと、朗読の会「野火」の会員として23年、私自身が主宰する「野の風」朗読会を始めて10年余です。



ヴァイオリンの梓澤たまきさんやピアノの方々の演奏ともコラボ。「朗読の普及員」を自任しています。モーパッサン、小泉八雲、山本周五郎、松谷みよ子……そして伊集院静、などなど。幾つもの短編を朗読して来ました。「朗読」とは、愛惜する作家・作品へのオマージュ、そしてラブレターと思っています。

昨年初め、朗読会を支えてくれていた夫が死去。友人、知人の訃報も相次ぎ、落ちこみました。けれど、弟や友人たちの応援もあり、10月は、ドラマティックリーディングの天田美保子さん、ピアノの吉村ひろみさんと「昔の家」でのジョイントコンサート、11月、「ぶんぶんウォーク・朗読の小道」、12月、「ウクレレ&フラ・朗読ライブ」と、例年通り続行することが出来ました。長年の乱読、乱視聴による雑学、そして幾人もの恩師からの教えが支えです。現在の私は、視力、記憶力の衰えに苦慮していますが、今は亡き人々の分まで頑張りたい。「朗読」だけは続けて行きたい、と願っています。





ハイポーズ 「シマエナガ」 2月 北海道・帯広市



求愛ポーズ 「タンチョウツル」 2月 北海道・鶴居村



求愛 「アカショウビン」 6月 青森県・十二湖



ベッピンさん 「ルリビタキ」 12月 町田市・薬師池



大物ゲット 「ヤマセミ」 4月 神奈川県・丹沢湖

明大スポーツ新聞部

明治大学校友会多摩支部の皆様へ

明大スポーツ新聞を応援してください

公式X (旧Twitter)
@meisupo

公式Instagram
@meisupo_photo

定期購読は
こちらから!!



編集後記：4月1日（月）からNHK連続テレビ小説「虎に翼」がスタートします。情熱をもって、苦境に向き合い「前へ、その先へ」、時代を駆け抜けた女性の姿が描かれます。朝のひと時、是非ご覧ください。また、小平地域支部創立40周年記念公演「立川志の輔独演会」が行われます。多摩支部の皆様のご参加をお願い申し上げます。今回の会報も、多くの校友の皆様から寄稿文や写真のご提供を頂き、校友の絆の有難味を強く感じました。有難うございます。「素晴らしきかな人生」、校友の皆様と共に、手作りの「会報」を作っていきたいと思えます。（広報委員会：佐々木一郎、柴田健彦）